常磐毎日
発行所　平市田町75番地　社電話　平2104　磐毎日新聞社（代表）2105

産婦人科　齊藤医院　入室完備
駅より三分　平市関町　電二九〇二

平市助役に中山氏（人長県員重委三事）か

平市の新助役に中労委中山会長の実弟で、現在三重県人事委員長の中山春男氏（五七）＝津市西堀端二〇五〇＝が大きく浮びあがり、最有力となった。同市の助役問題は醍醐市長が選挙の公約の中で「最高幹部の人事刷新」を表明してから急に話題が助役問題に集中し、現市助役の退陣とともに新しい助役説が出てきた。そして醍醐氏の当選を契機として市長自身の推薦、側近の推せんによる新助役候補が数人話題にのぼり、側近筋が十三日の初市会後に明かにするため週日選びうを続けてきたが、磐城市中の作出身である中山氏が最も有力なものとなってきた。

中山氏は昭和二年東北大法科卒業と同時に中労委に入り、現在三重県人事委員長を務めている。中山氏が平市の助役の最有力とみられるのは、こんどの選挙で醍醐市長の那須擁立だった坂本昌巖氏の実弟坂本こう蔵氏（平活販社長）が中山氏の長女と結婚していることと、八年前の醍醐市長実現の際も中山助役説も飛び出したが、市長自身が伊藤助役を強く説んだため実現できなかったが、伊藤助役が退陣することが可能となるにつれ、中山助役説が強く打ち出され、市長もほぼ承知しているのではないかとみられている。

現在の補充選挙人名簿を十六日から二十日まで縦覧する。該当者は昭和十四年五月十六日以前に生れた者で、ことしの二月十五日以前から平市に住居のある者。また選本選挙人名簿、補充選挙人名簿にあれているものとなっている。なお名簿は三十日に確定する。

中労委会長の実弟
市長、平市議会後に決定

立合演説会の日程決る
参議選、平は21日に

参院選挙はきのう公示され激しい戦が展開されているが福島県区の候補者立合演説会は十三日に北会津郡田人町を皮切りに三十日の郡山市まで十八日間にわたり県下三十五の会場で行なわれるが、石城地方では二十一日から行なわれる。なお、演説の順序はきょう夕刻まで県選管で抽せんにより決定する。石城地方立合演説会日程と場所は次のとおり。

▽二十一日＝平市公会堂（夜七時）▽二十二日＝内郷市内郷高校体育館（午後一時）勿来市旧田小学校講堂（夜七時）▽二十三日＝磐城市協本公民館（午後一時）磐城市小名浜第一小学校講堂（夜七時）▽二十四日＝四倉町四倉中学校講堂（午後一時）

湯本は温泉祭り
御輿、花屋台も繰だす

磐城市湯本三園の温泉神社祭礼は七、八の両日、両場内ににぎやかに行われている。七日は花火大会や演芸が行われ、八日は〝みこし〟〝もみ繰り出し市内を練り歩いて景気をおおっている。〝みこし〟……

【写真は街に出る花屋台】

溺死寸前の少女を救う
アルバイトの女子高校生
回転中のボート池で

公園の回転ボートを見ていた子どもが池に転落、溺死寸前のところをキツプ売りのアルバイトに出ていた女子高校生が池に飛び込み救ったという話がある。眼わった公園での出来ごとだったので池の周辺にはたくさんの人たちが見ていた。が、なすことも知らずただ呆然としていただけにこの一少女の行為は高く評価されている。

池に転落した。見ていた周囲の人たちも大騒ぎとなった。しかし、ボートが回って危険なため唯一人として救助に飛び込もうとする人がいなかった。このとき、同公園にアルバイトにきていた平市吉野谷七五、鮫五三年生の馬目幸子さんらが服装をぬぐ間もなく飛び込み救助したというもの。

回転するボートの合間をぬって馬目さんが溺れかけている少女を追っかける。間もなく回るボートの危険をおかしているさまは見ている人をヒヤヒヤさせたという。救けられた子の母親は名も告げずに去ったが、身の危険もかえり見ず飛び込み救助した馬目さんの行為に回転ボートに乗る人たちに授くたたえられることである。

公園事務所の話
「回転ボート盗難」が初めてのことも出来るが、急に停止させると乗っていた子どもたちが全員池に落ちるので、ゆるやかにしか停止できないとうに感心です。男の人も相当いたようですが、誰れも救助できなかっただけに、なおさらです」

現金千円盗み御用

内郷署は八日午前二時、同市白水川平三三御舘前科二犯無職間野昭（三）を窃盗現行犯で逮捕した。同時刻ごろ白水川平地内常磐炭礦㈱川平売店大谷貢さん方二階にしのび込み、現金一千円を盗んだもの。

会社側、譲歩か
常磐炭礦人員整理斗争
きょう、午後から団交

〝従業員の首切りを行わない〟の文書協定問題をめぐって斗争中の常磐炭礦労組（菊地組合長、組合員約一万人）は七日午後六時から団体交渉を行い、八日午前六時、組合は第二次案として従業員の人員整理は行わない。企業安定のため労使相互に努力することを決めて会社側に提案した。このためきょう午後一時から再び団交を開き、文書調印について双方とも調印を行う色が濃くなった。

平市では三年度以降、炭鉱閉山、人員整理斗争が続いているが、昨年度は閉山こそなかったものの、人員整理は前年度の二倍に当る千人近くにのぼり、今年度も同様の傾向にあるといわれている。

敬老年金の支給手続き
十四年度敬老年金の受給手続きを行っている。

招待高校野球
十日、磐高グラウンドで

磐高野球部後援会主催の招待高校野球大会は、十日午前九時半から磐高グラウンドで開くが、組合せは次のとおり決った。

◆第一試合午前九時半
磐高―磐商

◆第二試合午前十一時半
平工職―安積高

◆第三試合午後一時半
磐商―平工

会長に野沢氏
平青年会議所の総会

平青年会議所の第七回通常総会は、七日午後六時から平市の料亭水竹旅館で開かれ、理事長に谷川正男他十九名、会計監事に藤倉武雄、根本武雄、監事に真井民門の各氏を選出したほか、三十四年度事業計画を次のとおり決めた。

◆所得税法、地方税法、その他法令の説明会開催◆個人青色申告者に関連ある簿記（記帳）の講習会開催◆指導者の養成講習会開催（年二）◆記帳技術の向上並び貸借対照表の活用等◆青色申告者の利益を擁護するため税制問題◆税務、経理、経営に関し調査研究を行い資料を収集し、これを会報で周知する。

地方自治のしおり ②
第一章日本に於ける地方自治の成長

日本の歴史をふりかえってみるとき、自治の芽ばえ多々人々の間に芽ばえ、そして発展、醸国のよの中では、地域は限られていた事例すらあった。しかし大局的にみると、ヨーロツパのように自治精神が大きな規模のように自治精神が大きな規模を通わすことなしに明治維新をむかえたことは、すでに既述したところである。それでは、明治以後の自治の歩みはどんなものであったろうか。

明治維新がフランス革命や英国の名誉革命のように資質的な市民革命であったなら、草木は人々の間に芽ばえ、そして発展、醸よ成に過ぎていたと考えられる。日本の場合、維新運動の中心となったのが、所謂「志士」とよばれた下級武士であり、その人たちは武家的封建制には多分に批判的であっても、天皇を中心とする中央集権の強化こそ新日本の進路だと信じていたので、結局の所上からの革命になってしまった。したがって明治になっても、地方自治は容易に国の圧制に反抗しておこつた福島事件のように、地租をはじめとして地方自治における国の統制一辺倒であった。

こういう傾向に、何ほどかの変化を与えたのは明治七年と十一年に太政官布告として出された郡区町村編成法、府県会規則、地方税規則の三つである。

自治制で第一の弱点は、明治十四年の政変で大隈重信らが追放され、ついにしんでしまったが、国民の中から続々と言論によって政府の政策を批判し、自主的要求を掲げ出した意義は大きいのである。しかも、その中には明治十五年県会開通前後一時から平西工会議所会頭所会議室で「谷川正男他十九名、会計監事に藤倉武雄、根本武雄、監事に真井民門の各氏を選出したほか、三十四年度事業計画を次のとおり決めた。

◆所得税法、地方税法、その他法令の説明会開催◆個人青色申告者に関連ある簿記（記帳）の講習会開催◆指導者の養成講習会開催（年二）◆記帳技術の向上並び貸借対照表の活用等◆青色申告者の利益を擁護するため税制問題◆税務、経理、経営に関し調査研究を行い資料を収集し、これを会報で周知する。

参議選 全国区 根本氏、きょう届出

参院選全国区に立候補を予定されていた内郷市の根本良治氏（三五）はきょう八日中央選挙に立候補届出をした。

要求、県提示の二倍
難こうする高柴ダム補償問題
水田交換は15倍の原野を要求

福島ダムの補償問題をめぐり、県と地元側の第一回の交渉は七日午後一時から平西工会議所会議室で開いたが、地元側から補償額と交換後の条件について異議が出され、県側から補償ワクについての回答が示されただけであったが、地元の要求額は県の補償額の二倍以上のひらきがあり、解決までには相当の距離を思わせている。

同ダムで水没する区域は遠野町のほかに田人村と勿来市の三市町村だが、遠野町を除いて解決しており、現在の水没で補償の対象となる山林の面積は全体で四十五ヘクタールで、遠野町が二十八ヘクタール、うち町有地が十三ヘクタール。田人村は十一ヘクタール、勿来市は六ヘクタールで、いずれも土地代一アール三万五千円から二万円一アール当り五万円前後で解決している。とくに解決した大部分は代替地を要求しており、県では遠野町の分も代替地の要求があれば国有林に交渉してみる予定でいるなお近く第二回の交渉が開かれる。

酒に酔って交通事故

七日午後七時三十分ごろ、磐城市関都字宿内地内国道を通行中の同市上湯長谷字長倉七二磯上祐三さん（二）の運転するバイクは、前からきた同市三岡一九九佐々木彦男さん（三）の運転するバイクと正面衝突した。このため磯上さんは右手中指、親指骨折二週間の傷を負ったほか、ハイヤーは右前バンパーなど千円の損害。原因は磯上が頭に酔って時速五十キロのスピードを出していたため。

伝染病人発
地区の防疫
勿来

勿来市原生町では十一日から十六日まで伝染病多発地区環境不良地区防疫実施をつぎの日程で行う。

◇十一日＝大館炭鉱、大昭二坑◇十二日＝鮫川村江栗馬場、錦町糠塚◇十三日＝勿来市窪岡、白米町旭台◇十四日＝植井町字堀の内、小川町広部炭鉱、小川坑◇十五日＝出張地区◇十六日＝出張地区、山際地区

訂正
本紙七日付の参院選届出の記事中、全国区に根本良治氏を、とあるは八日の誤りでした。訂正し謝びいたします。

初の母船式マグロ独航船
四倉、第二大鳥丸が
要求、県提示の二倍

本県漁業界で初の母船式マグロ延縄漁業独航船が七日午後三時半ごろ四倉港に入港した。

船長超弩正明ら二十二乗組員＝てん馬、初の出漁で大洋漁業会社（丸紅）所有母船第三天洋丸（三千七百トン）に属して操業する。大鳥丸は昨年八月進水、総トン数百四十九トン、馬力三百、乗組員二十二人。

大鳥丸は七日午後三時半ごろ四倉港に入港、ここで二、三日停泊して出漁の準備をして十日ごろ南方フィー（九九・八一トン）＝イチ漁場向け出港、マグロを追って同漁場に操業する。

【写真は出港した大鳥丸】

米屋の登
録変え

平市では米屋の登録を十一日から十三日まで市民課と支所で行うが、従来までの米屋に代金の支払を済んだ証明をつけること。

勿来体育指導委員会
勿来体育協会損害保険委員会は八日午後一時から師ノ内町で開き、昭和三十四年度事業計画、その他について協議する。

永井さんが優勝盤
米屋組合野球大会の争奪将棋会戦績は次のとおり。

◆入賞❶永井芳❷安沢清一❸吉野朗❹鈴木茂◆B組❶宇佐見俊

プラタナスを植樹
平、目抜き通りに

平市緑化推進委員会では、市内の目抜き通りなどにプラタナスなどを植樹する計画をたてていたが、きょう八日午前十時から平西工会議所前から消防署に至る約二百メートルの歩道縁につまれた。

植樹されたのはチヨウ（六年生）五十本で、佐藤市勧業課長、荒井農務課長などがそれぞれ植樹する。

【写真は平の植樹】

このほか新川堤、十五メートル道路、街路などにプラタナスとイチヨウ二百本を植樹することになっている。

就任は29日に
赤津勿来新市長の

赤津勿来新市長は八日午前九時三十分予定時間きっかりに北郷勿来市役所で前任者の小野田助役から引継ぎを受け、各部ごとに〝よろしく御願い致します〟とあいさつして廻った。就任は五月二十九日となっている。

バイク盗む
時三十分ごろ磐城第一小学校講堂（夜七時）▽二十四日＝四倉町四倉中学校講堂（午後一時）

四倉町の水道14日断水

四倉町水道課では来る十四日午前十時から午後三時まで町内一円の水道を断水する。これは四倉高校前の送水管修理のためである。

部落対抗の野球
植田、16チームが参加

勿来市植田公民館主催の第四回植田町内部落対抗野球大会は十日午前八時三十分から植田小学校を庭に十六チームが参加して行われるが、この様どその組合せが決まった。

A球場（一回戦）
小浜―後田
金山―北台町
横町―金畑
横町―金畑の勝者と佐畑

B球場（一回戦）
岩間―南台町
仁井田―仲町
下町―上町

下町―上町の勝者と江畑

オジサマ族よ
キリリとなされ
藤越
平市 電3141番
夏白いワイシヤツにネクタイをキリツとしめた紳士の姿は見るからに爽しく頼もしい。今年は洗つても洗色にくならぬテトロン混紡が人気のまとです。
五百一八四〇円
九百一千三百円
百〃 九円と肉
三百五二七〇円
〃 千共ブラウス
〇テトロン混紡〃
〇混梳毛
〇絹ワイシヤツ
選定コーナー
土曜特売
逝

財団法人
松村病院
産室新設
平市南町28 電（代表）2161
内科 小児科 後藤医院
後藤全久
平市古銀治町 電三〇三
内科 小児科 中華の味一番
平市東銀座 電二四一五
内科 外科 産婦人科 前田医院
院長 前田春雄
副院長 前田尚美
★入院随時
勿来市植田町本町六三 電（植田）二二番
栄養満点な！
糞味第一磐盛的にも神戸牛肉が一番お徳用です！
鎌倉ハム各種特約店
緑屋牛豚肉問屋
本店 平市一丁目 電二五三九
支店 平市中央通り 電二七九四
不動産売買。仲介評価貸家斡旋
公認 平宅地建物取引所
平市才関小路関町際 色川材木店内 電三六一番
新鮮な野菜サラダをどうぞ!!
コロッケ 一ケ 一〇円
メンチカツ 一枚 一五円
野菜サラダ 百瓦 一五円
伊勢松阪牛の店 マル
平市銀座通り 電三七一
内科 小児科 外科 整形外科 神経科 性病科 胃腸科 呼吸器科 小児科 放射線科 医長 浅堀本松村 部長 野坂 部長 斎藤 部長 金坂 四戸子本戸木野 部長 泊楽 部長 雄身 部長 剛学 院長 佐藤稔 城東分院 平市手掘町二九 城南分院 平市小太郎町一八 ◎入院随時（完全給食・完全看護）
平医師会第十次定時総会
左記により定時総会を開催いたしますので御出席下さい。当日出席出来ない方は委任状を提出して下さい。
記
一、日時 五月十二（火）午後四時
一、場所 平医師会館
一、議案
❶昭和33年度決算の件
❷昭和34年度予算の件
❸その他
昭和三十四年五月八日
社団法人 平医師会
会長 鈴木正男
平医師会員殿

娯楽の王座占る〝映画白書〟

一億五千万円を稼ぐ 入場者は四百余万人

税務署調べ

◇……平税務署では昨年中の管内臨時開設を含む四十六常設映画館の入場人員……◇

◇……などを調べていたが、この程、次のような〝映画白書〟を発表した。……◇

○…管内には平市の十常設映画館を含む五市七カ町村に四十六常設館がある。さらに臨時開設三百十九回が興行されている。これの入場人員は四百九万七千六百三十二人で、料金は二億五千四百八十三万八千五百八十円となっている五市七カ町村の人口を三十五万とみて、生れたばかりの赤ん坊からヨボヨボの年寄りまで一人当り十一・八回が年間の入場回数で、一年間の消費額は一回に七十六円均で八百九十五円支払ったことになる。支払った入場料金のうち五千五百六十九万七千六百十四円が入場税となって国庫に納められ、一人当りに換算すると一回七十六円のうち十四円が入場税となり、年間で一人当り百六十円を納めているわけだ。

○…管内のうちで、どの市町村が一番映画入場者が多いかでは平市が断然多くなっている。平市では十館の常設と臨時が百一回興行されており、人員は百六十五万四百八十八人、料金も一億一千六百六十五万九千五百円となり、管内の約半分を占めている。次が磐城市で、常磐、勿来内郷、四倉、好間の順となるわけだが、一人当りの年間入場回数では平市が二・九回とトツプ。続いて好間村の一四・八回、常磐一一回、磐城一〇・九回、勿来一〇回、四倉七・六回、内郷七・一回となっており、他の町村はいずれも一・八回から〇・一回の率となっている。平均では一・一回だから、平均を上回るのは平市だけで、はなはだしいのは川前、三和村の〇・一回で臨時興行には入場率も悪いことがあげられている。

これは平市がほとんど入場者を吸収しているためとなり、隣接の内郷市の成績も平市内の映画館に吸収されていることがあげられる。そこに平市の場合は常設十館が乱立しているため一万人が相場といわれる映画人口を下って、一館当り七千二百五人の映画人口であるが、内郷市の二万二百七十人よりもよい成績をあげていることが、他市町村の映画人口を吸収していることを裏付けしている。

平は三和の二千倍

映画観賞の消費額

○…各市町村の一人当り年間入場料金、税額をみると平市が二千五百九十四円、磐城市八百十六円、磐城市八百二十三円、勿来市七百三十六円、四倉三百十一円、好間村三百三十一円、小川町二百十三円、遠野町百四円と、内郷市五百六十七